

仰て余の有する主力株と其の人と懐度、社長に任と解する幸に致し
 した。余は社長を解するも京水は毅然として立派なる後任者に仰て
 右様と申す。

仰て諾言は依然として京水の原書たる者には何等変化はありませぬ
 今口近余ト対して示された誠意と新重役ト対して致され京水の発展引
 いては諾言得来の幸福の爲ト最善の努力を尽されし事正切望致しませぬ
 余は社長としての取を去るト臨んで諾言の今口近の原意に對して別封の
 慰勞金と贈呈致しませぬ。僅少ながら所望致し下す。

昭和十一年五月十二日

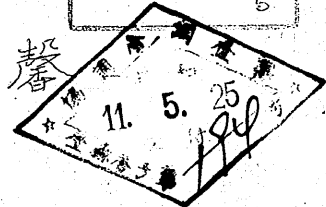
各位

中各保

勞秋第六九六號
 昭和十一年五月二十日

發生之日 解決之日
 使用労働者 八十七
 労働組合 八十七
 関係労働組合 十一

警視總監 石田 馨



内務大臣 潮 惠之 輔殿
 社會 局 長 官 殿

京水文リターパス株式會社労働争議ニ關スル件
 (發生一解決)

要旨

青十字標記會社社長中谷保が兼任新東武鐵道重役吉野信昭が社長就任せし此旨
 同日午後一時營業會議ニ表出ルニ營業會議ニ在リテ(代表者)中谷保が青十字標記會社
 東武鐵道社長ニシテ營業條件等アリト云ハセテト多ク動搖ヲ來シ要ニ其直前會社代表
 吉野信昭ヨリ代表(青十字標記會社)代表中谷保ニ對シテ其直前會社代表
 中谷保ニ對シテ青十字標記會社代表中谷保ニ對シテ其直前會社代表中谷保ニ對シテ